

point 2

# 生ゴミ

## 一工夫で生ごみの水分カット！

ごみ減量最大の敵。  
それが可燃ごみの約5割を占める生ごみ。  
その「水分」をいかに失くすかが重要。



◀水切りネットを活用し、ごみ袋に入れる前にぎゅっと押さえつける。これだけで効果抜群です。(写真左)  
ペットボトルを切り取ったものを水切りに活用すれば手が汚れません。(写真右)

### 水分カットのポイント

- 食材を買いすぎない  
料理を作りすぎない
- 野菜は切ってから洗う  
果物の皮は乾かして捨てる
- 生ごみを捨てる前にしぼって水分をなくす

## 乾燥してサラサラ 生ごみ処理機で楽々減量

「ごみ袋が重いし、ごみの量を減らすためにと思って購入しました」

そう話す村井早苗さん(瀬戸)は、町の補助金を活用して、今年4月に生ごみ処理機を購入しました。処理後の乾燥生ごみは、「手で触ってもサラサラ。水分がなくなり、臭いもほとんどありません。処理機を使うと、入れた生ごみが少なくなるとも5分の1の量になっていきます。乾燥した生ごみは、畑にまいて肥料として活用しています」  
桂川町では、電動生ごみ処理機購入の補助を行っています。処理機の価格に応じて上限2万円の補助を受けることができます。詳しくは保険環境課生活環境係にお問い合わせください。

生ごみ処理機利用者

村井早苗さん  
(瀬戸)



▲「生ごみを入れてスイッチを押すだけなので簡単です」と話す村井さん。右は処理後の乾燥生ごみ。

point 3

# 紙類

## かさばる。重い。紙類はリサイクルへ！

かさばる古紙や古雑誌はごみ袋も重くなり大変。  
リサイクルボックスやリサイクル活動団体(廃品回収)を利用！



▲リサイクルとして出せるものは、町内の家庭から出た資源ごみに限られます。各行政区のリサイクルボックスの設置場所や利用可能日などは、行政区長にお問い合わせください。



Q. 布団や木材はどのようにして捨ればいいですか？

A. 項目ごとにお答えします。

○布団・毛布

ひもで縛るなどした3枚までは粗大ごみシール1枚で排出することが可能です。50cm以下に切って袋に入れば、可燃ごみの袋でも出すことができます。

○木材

粗大ごみとして捨ててください。直径や長さによって捨てることのできる本数が異なりますので、お問い合わせください。直径が5cm以下のものは、長さを50cm以下に切ることで可燃ごみとして出すことができます。

Q. 捨て方についてもっと詳しく知りたいのですが。

A. 冊子「ごみの分け方・出し方」をご覧ください。お持ちでない方は保険環境課(10番窓口)で配布しています。



【問合せ先】 保険環境課 生活環境係

☎65-1097